

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### (1) 学生確保の見通し

##### ア 過去の定員充足状況【参考資料1】

設置する課程の基礎となる工学部（第二部）4学科の入学定員は20名、志願倍率は、平成28年度5.60、平成29年度6.25、平成30年度5.40、令和元年度5.65、令和2年度5.20と推移しており、5か年平均では5.62である。

定員充足率は、平成28年度1.15、平成29年度1.15、平成30年度1.00、令和元年度1.20、令和2年度1.00と推移しており、5か年平均では1.10である。

新課程の入学定員は、廃止する4学科合計の入学定員と同数である20名を予定しており、今後も安定的に志願者・入学者が十分に見込まれ、学生の確保は可能である。

##### イ 高校生等の需要【参考資料2-1、2-2】

新課程は特に工科系高校との接続を重視した構想となっている。そのため、愛知県内に所在する工科系高等学校の進路担当者及び在校生（2年生及び1年生）に対して、新課程に関するアンケートを実施した。

進路担当者のアンケートでは、回答のあった24校中23校が「新課程が必要である」と答え、進路担当者が見込む志願者合計数は36名であった。

在校生のアンケートでは、「ぜひ入学したいと思う」と答えた生徒が2年生24名、1年生25名であった。「進路の一つとして考えたい」と答えた生徒まで含めると、各学年とも200名前後の需要があり、愛知県内だけでも入学定員20名を上回る志願者が十分に見込まれる結果となった。

#### (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

設置する課程について、ウェブページやパンフレット等で学外にPRするととも

に、工業高校の進路担当者、在校生等へ新課程の説明会を開催するなど、当該課程への理解を促進する取組を実施する。

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材養成に関する目的等の概要

新課程では、基幹技術の展開を具現化する創製人材の養成を目的としており、卒業後は主に複雑化する産業界の製造・施工現場において、研究・開発部門と製造・施工部門の橋渡しを行うことが期待されている。これ以外に、さらに高度な専門知識・技能を修得するため博士前期課程に進学することも可能である。

### (2) 社会的・地域的な人材需要

#### ア 過去の就職状況【参考資料3-1、3-2】

令和元年度実績では、本学の工学部卒業生に対する求人倍率は19.1倍であった。工学部（第二部）の求職者15名のうち14名が就職し、就職率は93.3%と極めて高い。就職先は建設、製造、公務など、専門性を生かした業種となっている。

#### イ 産業界における需要【参考資料4】

中部地区の企業だけではなく関東や関西等の他地区に本社を置く企業を含む469社にアンケートを実施し、137社から回答を得た。

本構想に掲げる人材を必要とする企業は124社であり、採用を希望する企業は94社（「検討したい」を含めると131社）という結果となった。

これらの結果から、新課程の教育内容に大半の企業が賛同していること、入学定員20名に対して十分な社会的需要があることが示された。

## 【参考資料1】

工学部(第二部)の充足状況  
〔平成28(2016)～令和2(2020)年度入学者選抜実績〕

平成28(2016)年度							
学 科 名	入学定員(a)	志願者(b)	受験者	合格者	入学者(c)	志願倍率(b/a)	充足率(c/a)
物 質 工	5	24	22	6	5	4.80	1.00
機 械 工	5	21	19	6	5	4.20	1.00
電気情報工	5	31	30	7	7	6.20	1.40
社会開発工	5	36	36	6	6	7.20	1.20
合 計	20	112	107	25	23	5.60	1.15
平成29(2017)年度							
学 科 名	入学定員(a)	志願者(b)	受験者	合格者	入学者(c)	充足率(b/a)	充足率(c/a)
物 質 工	5	16	16	7	6	3.20	1.20
機 械 工	5	45	42	7	5	9.00	1.00
電気情報工	5	35	31	6	6	7.00	1.20
社会開発工	5	29	27	6	6	5.80	1.20
合 計	20	125	116	26	23	6.25	1.15
平成30(2018)年度							
学 科 名	入学定員(a)	志願者(b)	受験者	合格者	入学者(c)	充足率(b/a)	充足率(c/a)
物 質 工	5	24	21	6	5	4.80	1.00
機 械 工	5	20	20	6	5	4.00	1.00
電気情報工	5	37	33	6	5	7.40	1.00
社会開発工	5	27	27	6	5	5.40	1.00
合 計	20	108	101	23	20	5.40	1.00
令和元(2019)年度							
学 科 名	入学定員(a)	志願者(b)	受験者	合格者	入学者(c)	充足率(b/a)	充足率(c/a)
物 質 工	5	26	25	7	7	5.20	1.40
機 械 工	5	28	27	6	6	5.60	1.20
電気情報工	5	39	34	6	6	7.80	1.20
社会開発工	5	20	19	6	5	4.00	1.00
合 計	20	113	105	25	24	5.65	1.20
令和2(2020)年度							
学 科 名	入学定員(a)	志願者(b)	受験者	合格者	入学者(c)	充足率(b/a)	充足率(c/a)
物 質 工	5	28	25	5	5	5.60	1.00
機 械 工	5	27	22	5	5	5.40	1.00
電気情報工	5	29	27	5	5	5.80	1.00
社会開発工	5	20	19	5	5	4.00	1.00
合 計	20	104	93	20	20	5.20	1.00

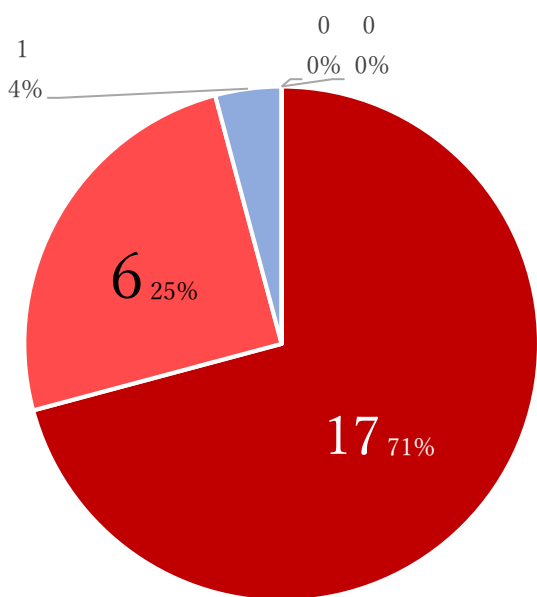
## 愛知県内の工科系高等学校へのアンケート結果

日 時：2020年5月13日（水）～5月29日（金）

依頼高校数：32校

回 答 数：24校（回答率75.00%）

問1 本構想に掲げる教育課程は、貴校卒業後の進路先として必要だと思われますか。

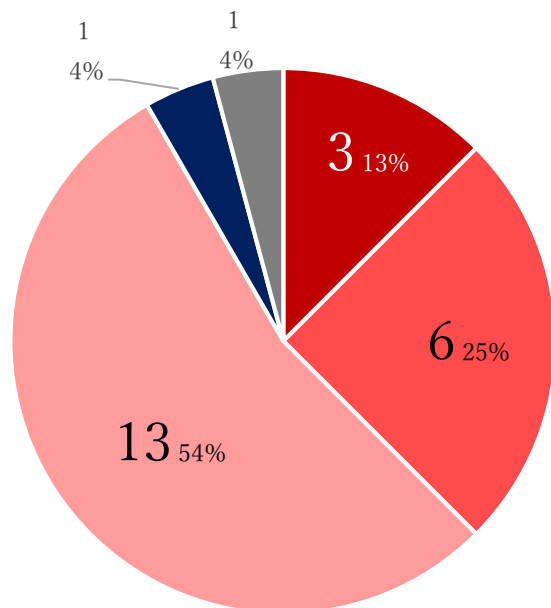


1. ■必要である [17校]
2. ■ある程度必要である [6校]
3. ■あまり必要ではない [1校]
4. ■まったく必要ではない [0校]
5. ■その他 [0校]

<自由記述>

・進路の選択が増え、生徒の意欲向上につながる。

問2 貴校の生徒のうち、毎年どの程度の学生が本構想の教育課程への進学を希望すると思われますか。（おおよそで構いません。）



1. ■3名以上 [3校] \*4名2校、3名1校
2. ■2名程度 [6校]
3. ■1名程度 [13校]
4. ■まったく見込めない [1校]
5. ■その他 [1校]

**志願見込合計 36人**

<自由記述>

・大学進学にも対応できる教育の転換を目指していきたい。  
 ・ほとんどの生徒が就職希望であるが、今後、進学希望があった際に、貴学の構想は貴重な選択肢になると考える。

# アンケート（見本）

2020年5月13日

工科系高校進路担当者 殿

国立大学法人名古屋工業大学長  
木下 隆利

## 工学部（第二部）の改組構想に関するアンケート

平素より本学の教育研究活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では、工科系高校との接続を重視し、「基幹技術の展開を具現化する創製人材の育成（基幹工学）」を目指すため、現行の工学部（第二部）を改組（廃止）し、工学部に「夜間教育を主とした昼夜開講制の新教育課程」設置を計画しております。

構想している教育課程の社会的な需要を調査するため、以下のアンケートにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。基本的な構想については、別添の構想概要をご参照ください。

なお、本アンケートは、全体を集計した上で、本構想の関係資料として利用し、個別に公表しないことを申し添えます。

## アンケート調査票

該当する回答を○で囲んでください。

問1 本構想に掲げる教育課程は、貴校卒業後の進路先として必要だと思われませんか。	問2 貴校の生徒のうち、毎年どの程度の学生が本構想の教育課程への進学を希望すると思われませんか。（おおよそで構いません。）
<p>1. 必要である</p> <p>2. ある程度必要である</p> <p>3. あまり必要ではない</p> <p>4. まったく必要ではない</p> <p>5. その他 (自由記述)</p>	<p>1. 3名以上 (約____名)</p> <p>2. 2名程度</p> <p>3. 1名程度</p> <p>4. まったく見込めない</p> <p>5. その他 (自由記述)</p>

御所属 \_\_\_\_\_

御役職名 \_\_\_\_\_

御氏名 \_\_\_\_\_

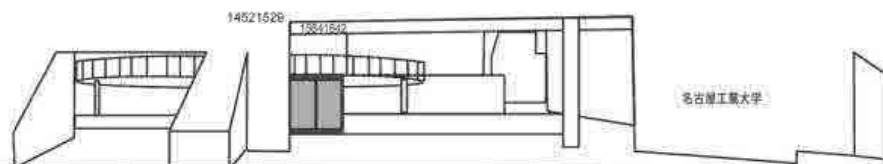
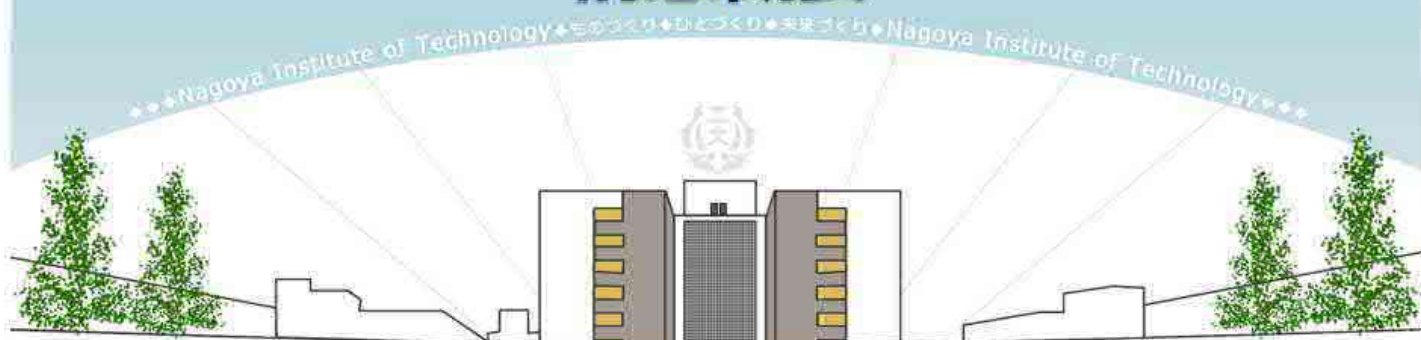
調査票に記入の上、FAX（\*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*）にて回答ください。

\*お手数ですがご不明な点があれば、名古屋工業大学企画広報課企画・評価係(\*\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*)までお問合せください。

# 名古屋工業大学

## 工学部基幹工学教育課程（仮称）

### 構想概要



名古屋工業大学

名古屋工業大学

## 目次

1. 名古屋工業大学における人材育成
2. 基幹工学教育課程（仮称）の養成する人材
3. 基幹工学教育課程の特色
4. カリキュラムフロー（全体像：案）







# 1. 名古屋工業大学における人材育成

我が国・世界の産業技術に貢献する「実践的工学エリートの育成」  
研究企画（おもひ），設計開発（しくみ），製造（つくり），流通（ながれ）

## 多様な学生による学びの活性化

【入学者像】経済的困窮学生，  
専門学科卒業生，社会人

専門科目の深化  
(アドバンスプラン)

### 基幹工学教育課程 (夜間主) (仮称)

電気・機械工学コース  
環境都市工学コース

リカレント  
教育

基幹技術の展開  
製造・施工現場で即戦力を持つ  
創製人材の育成

実務型教育  
社会のニーズに対応

中京地域産業界が  
求める専門基礎  
電気・機械工学，  
環境都市工学

### 5 学科

(高度工学教育課程)

技術の深化  
中核的技術者，  
研究人材の育成

### 創造工学教育課程

2コース

新しい価値の創造  
多面的視野を持つ  
開発人材の育成

### 共通の工学基礎教育

数学，物理，化学  
数理・データサイエンス  
工学倫理，科学技術英語，知財・マネジメント



# 2. 基幹工学教育課程（仮称）の養成する人材

## 産業界の求める工学人材像（新たな工学人材像）

本学工学部に既存の中核的技術者・研究人材の育成（高度工学）と多面的視野を持つ開発人材の育成（創造工学）と並んで、「**基幹技術の展開を具現化する創製人材の育成（基幹工学）**」を目指す

### ＜創製人材＞

- ・ 設計開発を含む複雑化する製造・施工現場で、即戦力を持って活躍可能な工学人材（特に専門学科卒業生）
- ・ 研究・開発部門と製造・施工部門の橋渡しを、工学基幹知識とスキルによって可能とする実践人材

### 電気・機械工学コース, 環境都市工学コースで構成

愛知県内の工業高校及び企業へのアンケート調査及びヒアリングを行った結果、「電気」「機械」「土木」3分野の人材需要が高い

#### 電気・機械工学コース

世界をリードする我が国の電子・機械製品群の企画・開発・設計から製造を担う人材を、工学基礎と電気・機械工学専門基礎の学修により育成する

#### 環境都市工学コース

持続可能な魅力ある街・都市・国土づくりに必要な設計・施工・管理を担う人材を、工学基礎と土木工学専門基礎の学修により育成する







# 1. 名古屋工業大学における人材育成

我が国・世界の産業技術に貢献する「実践的工学エリートの育成」  
研究企画（おもひ）、設計開発（しくみ）、製造（つくり）、流通（ながれ）

## 多様な学生による学びの活性化

【入学者像】経済的困窮学生、  
専門学科卒業生、社会人

専門科目の深化  
(アドバンスプラン)

### 基幹工学教育課程 (夜間主) (仮称)

電気・機械工学コース  
環境都市工学コース

リカレント  
教育

基幹技術の展開

製造・施工現場で即戦力を持つ  
創製人材の育成

実務型教育  
社会のニーズに対応

中京地域産業界が  
求める専門基礎  
電気・機械工学、  
環境都市工学

### 5 学科

(高度工学教育課程)

技術の深化  
中核的技術者、  
研究人材の育成

### 創造工学教育課程

2コース

新しい価値の創造  
多面的視野を持つ  
開発人材の育成

### 共通の工学基礎教育

数学、物理、化学  
数理・データサイエンス  
工学倫理、科学技術英語、知財・マネジメント



# 2. 基幹工学教育課程（仮称）の養成する人材

## 産業界の求める工学人材像（新たな工学人材像）

本学工学部に既存の中核的技術者・研究人材の育成（高度工学）と多面的視野を持つ開発人材の育成（創造工学）と並んで、「**基幹技術の展開を具現化する創製人材の育成（基幹工学）**」を目指す

### <創製人材>

- 設計開発を含む複雑化する製造・施工現場で、即戦力を持って活躍可能な工学人材（特に専門学科卒業生）
- 研究・開発部門と製造・施工部門の橋渡しを、工学基幹知識とスキルによって可能とする実践人材

### 電気・機械工学コース, 環境都市工学コースで構成

愛知県内の工業高校及び企業へのアンケート調査及びヒアリングを行った結果、「電気」「機械」「土木」3分野の人材需要が高い

#### 電気・機械工学コース

世界をリードする我が国の電子・機械製品群の企画・開発・設計から製造を担う人材を、工学基礎と電気・機械工学専門基礎の学修により育成する

#### 環境都市工学コース

持続可能な魅力ある街・都市・国土づくりに必要な設計・施工・管理を担う人材を、工学基礎と土木工学専門基礎の学修により育成する





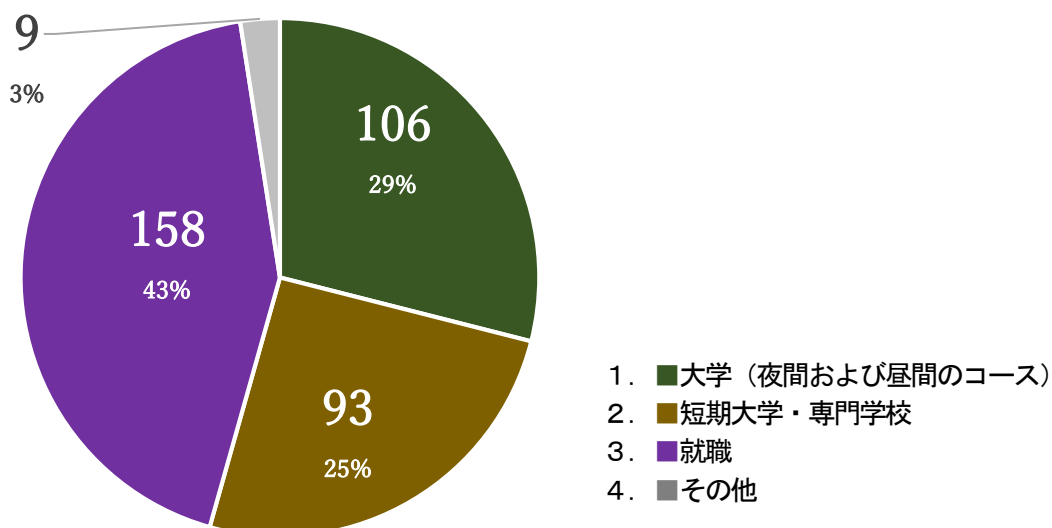
## 愛知県内の工科系高等学校在校生へのアンケート結果

2020年9月9日（水）アンケート配布

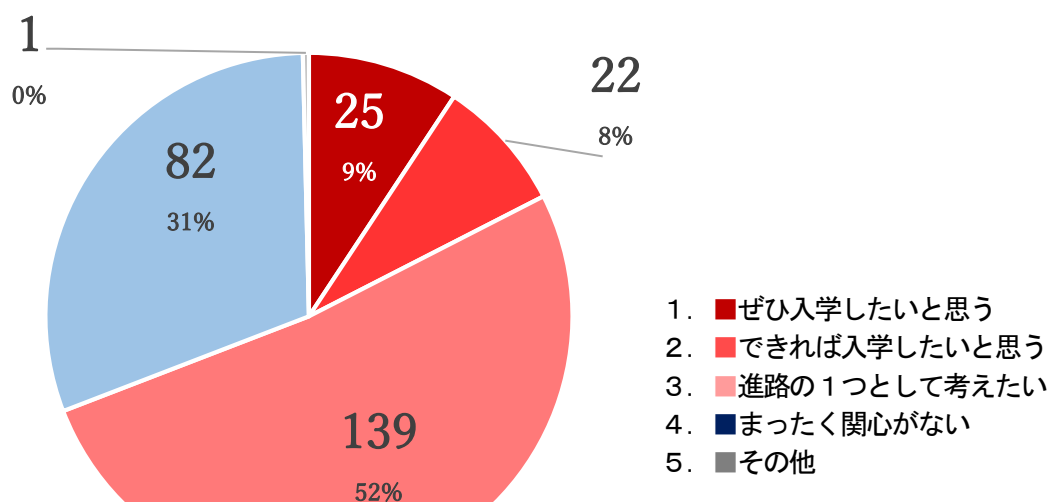
有効回答数：1年生 268名 2年生 374名（愛知県内23校の在校生からの回答）

## 1年生

問1 卒業後の進路として、現時点でのあなたのお考えを、複数選んでも結構ですから教えてください。

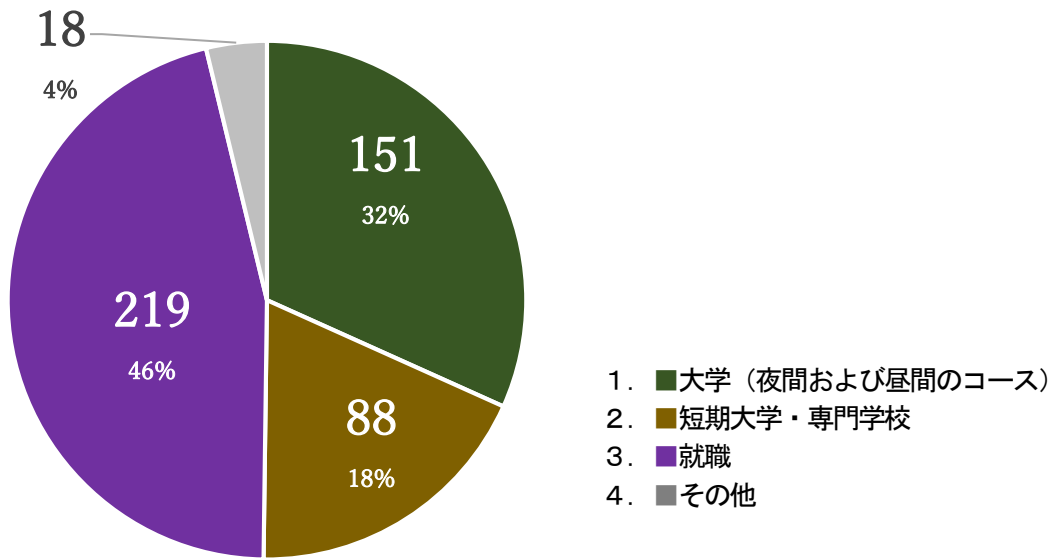


問2 問1で「3. 就職」を選んだ方も含め、今回計画している「働きながら夜間に学ぶ」コースについて、あなたのお考えにもっとも近いものを選んでください。

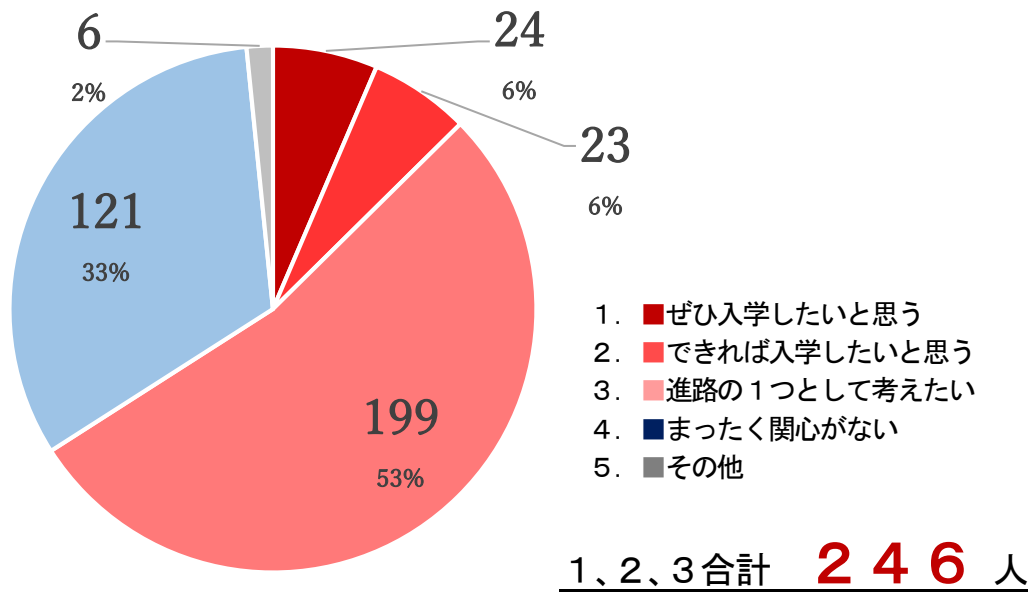
1、2、3合計 **186** 人

## 2年生

問1 卒業後の進路として、現時点でのあなたのお考えを、複数選んでも結構ですから教えてください。



問2 問1で「3. 就職」を選んだ方も含め、今回計画している「働きながら夜間に学ぶ」コースについて、あなたのお考えにもっとも近いものを選んでください。



# アンケート用紙

工科系高校の在校生の方へ

名古屋工業大学は、名古屋市に所在する国立の工科系単科大学です。現在、社会（特に産業界や工科系高校）のニーズを調べながら、就職先の企業の理解・協力を得た上で、働きつつ「産業界で通用する実践的なカリキュラムを夜間に学ぶ」ことができる、新しいコースの計画を進めています。それにあたって、実際に工科系高校に在籍されている方のご意見をぜひお聞きしたいので、以下の「アンケート票」に必要な事項を記入していただけないでしょうか。

新たなコースの概要については、裏面の資料に記載しているので参照してください。

本アンケートは、全体を集計した上で参考資料として利用し、個別の公表はしませんから安心して回答してください。ご協力よろしくお願いします。

## アンケート調査票

**該当する回答を○で囲んでください。**

<p>問1 卒業後の進路として、現時点でのあなたのお考えを、複数選んでも結構ですから教えてください</p>	<p>問2 問1で「3. 就職」を選んだ方も含め、今回計画している「働きながら夜間に学ぶ」コースについて、あなたのお考えにもっとも近いものを選んでください。</p>
<p>1. 大学（夜間および昼間のコース） 2. 短期大学・専門学校 3. 就職 4. その他 (自由記述)</p>	<p>1. ぜひ入学したいと思う 2. できれば入学したいと思う 3. 進路の1つとして考えたい 4. まったく関心がない 5. その他 (自由記述)</p>

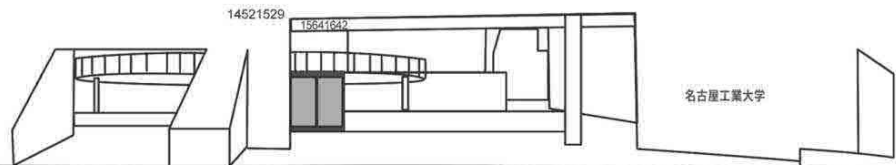
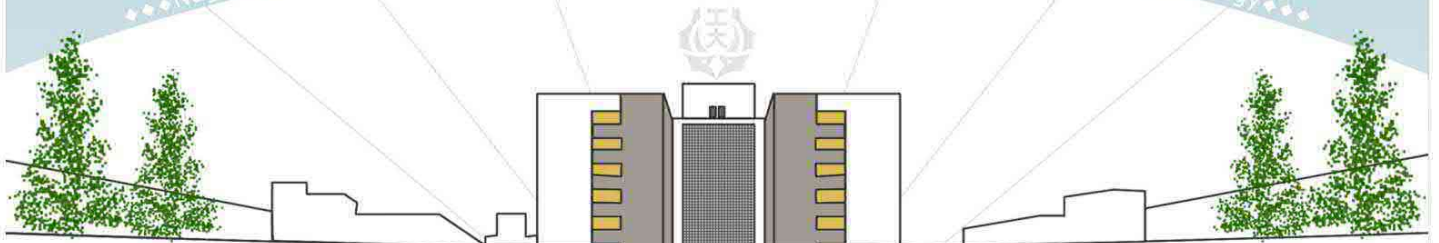
学校名 \_\_\_\_\_

学 年 \_\_\_\_\_



# 名古屋工業大学 「働きながら夜間に学ぶ」コース 計画の概要

◆◆◆ Nagoya Institute of Technology ◆◆◆ ものづくり ◆◆◆ ひとづくり ◆◆◆ 未来づくり ◆◆◆ Nagoya Institute of Technology ◆◆◆



Nagoya Institute of Technology

本資料の内容は現在構想中の案であり、変更することがあるためご注意ください。

名古屋工業大学

## 新たな「働きながら学ぶ」コースの基本情報

### ● 名称

正式名称は**基幹工学教育課程**（仮称）と呼びます。中京地域の産業界が特に必要としている「電気・機械・土木」を学ぶコースなので、「**基幹工学**」という名称を予定しています。

### ● 新たなコースの内容

**電気・機械工学コース**と**環境都市工学コース**の2コースに分かれ、それぞれ電気・機械と土木に関係する**産業界でも十分通用する実践的な知識・技術**を、働きながら学びます。

### ● 募集人員と入試

1学年あたりの定員は**20名**です。**工科系高校卒業見込者を対象とした推薦入試**などで、**工科系高校卒業生を広く積極的に受け入れる**予定です。

### ● 授業料等

新コースは他の昼間コースに比べ**半額程度**の金額を予定しています。

区 分	授業料(年額)	検 定 料	入 学 料
新コース	267,900円	10,000円	141,000円
(参考)他昼間コース	535,800円	17,000円	282,000円

### ● その他

**働きつつ主に夜間に学ぶ5年間のコース**です。大学も入学者の**就職活動を積極的に支援**します。さらに深く学ぶため、**昼間の授業を一部履修することも可能**です。







# 1. 名古屋工業大学における人材育成

我が国・世界の産業技術に貢献する「実践的工学エリートの育成」  
研究企画（おもひ）、設計開発（しくみ）、製造（つくり）、流通（ながれ）

## 多様な学生による学びの活性化

【入学者像】経済的困窮学生、  
専門学科卒業生、社会人

専門科目の深化  
(アドバンスプラン)

### 基幹工学教育課程 (夜間主) (仮称)

電気・機械工学コース  
環境都市工学コース

リカレント  
教育

基幹技術の展開

製造・施工現場で即戦力を持つ  
創製人材の育成

実務型教育  
社会のニーズに対応

中京地域産業界が  
求める専門基礎  
電気・機械工学、  
環境都市工学

### 5 学科

(高度工学教育課程)

技術の深化  
中核的技術者、  
研究人材の育成

### 創造工学教育課程

2コース

新しい価値の創造  
多面的視野を持つ  
開発人材の育成

### 共通の工学基礎教育

数学、物理、化学  
数理・データサイエンス  
工学倫理、科学技術英語、知財・マネジメント



# 2. 基幹工学教育課程（仮称）の養成する人材

## 産業界の求める工学人材像（新たな工学人材像）

本学工学部に既存の中核的技術者・研究人材の育成（高度工学）と多面的視野を持つ開発人材の育成（創造工学）と並んで、「**基幹技術の展開を具現化する創製人材の育成（基幹工学）**」を目指す

### <創製人材>

- ・ 設計開発を含む複雑化する製造・施工現場で、即戦力を持って活躍可能な工学人材（特に専門学科卒業生）
- ・ 研究・開発部門と製造・施工部門の橋渡しを、工学基幹知識とスキルによって可能とする実践人材

### 電気・機械工学コース, 環境都市工学コースで構成

愛知県内の工業高校及び企業へのアンケート調査及びヒアリングを行った結果、「電気」「機械」「土木」3分野の人材需要が高い

#### 電気・機械工学コース

世界をリードする我が国の電子・機械製品群の企画・開発・設計から製造を担う人材を、工学基礎と電気・機械工学専門基礎の学修により育成する

#### 環境都市工学コース

持続可能な魅力ある街・都市・国土づくりに必要な設計・施工・管理を担う人材を、工学基礎と土木工学専門基礎の学修により育成する



## 卒業生・修了者数

## ■工学部

学 科 名	2019年度卒業生	累 計
生命・応用化学科	201	201
物理工学科	97	97
電気・機械工学科	206	206
情報工学科	130	130
社会工学科	149	149
創造工学教育課程	92	92
生命・物質工学科*	9	1,891
環境材料工学科*	3	1,175
機械工学科*	17	2,298
電気電子工学科*	12	1,710
情報工学科*	17	1,896
建築・デザイン工学科*	3	937
都市社会工学科*	5	1,112
旧学科	—	38,093
計	941	49,112

物質工学科	4	179
機械工学科	5	156
電気情報工学科	5	179
社会開発工学科	6	140
旧学科	—	6,379
計	20	7,033

工学部計	961	56,145
------	-----	--------

※印のある学科・専攻は改組前のものとする。

## ■大学院工学研究科

専 攻 名	2019年度修了者	累 計
生命・応用化学専攻*	178	684
物理工学専攻*	80	337
電気・機械工学専攻*	215	850
情報工学専攻*	122	482
社会工学専攻*	132	512
旧専攻	—	13,713
計	727	16,578

生命・応用化学専攻	6	10
物理工学専攻	4	5
電気・機械工学専攻	4	8
情報工学専攻	1	3
社会工学専攻	2	4
機能工学専攻*	1	70
情報工学専攻*	1	112
社会工学専攻*	1	106
未来材料創成工学専攻*	1	105
創成シミュレーション工学専攻*	1	51
共同ナノメディン科学専攻	2	14
旧専攻	—	694
計	24	1,182

修士課程計	—	2,452
-------	---	-------

大学院工学研究科計	751	20,212
-----------	-----	--------

卒業生・修了者数、2019年度卒業生・修了者の進学状況

## 2019年度卒業生・修了者の進学状況

## ■進学状況

## (1) 進学率

出身区分	卒業・修了者	進学者	進学率
工学部 第一部	941名	675名	71.7%
工学部 第二部	20名	4名	20.0%
大学院工学研究科 (博士前期課程)	727名	17名	2.3%

## (2) 進学先

進学先	出身				計
	学 部		大学院		
	第一部	第二部	博士前期	博士後期	
名古屋工業大学	653	4	14	0	671
東京工業大学	10	0	1	0	11
名古屋大学	5	0	0	0	5
大阪大学	3	0	0	0	3
京都大学	2	0	0	0	2
広島大学	0	0	1	0	1
神戸大学	1	0	0	0	1
東京大学	1	0	0	0	1
メルボルン大学	0	0	1	0	1
計	675	4	17	0	696



## 2019年度卒業生・修了者の就職状況

2019年度卒業生・修了者の就職状況

区 分		学 部		大学院		合 計
		第一部	第二部	前期課程	後期課程	
進学者数		675	4	17 <sup>*1</sup>	0	696
就職者数	正規の職員	243	14	696 <sup>*1</sup>	18	971
	正規の職員等でない者 <sup>*2</sup> (雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当の者)	0	0	1	3	4
その他		23	2	14	3	42
計		941	20	727	24	1,712
農業、林業		0	0	0	0	0
漁業		0	0	0	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業		0	0	0	0	0
建設業		32	1	44	1	78
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料	0	0	4	0	4
	繊維工業	1	0	2	0	3
	印刷・同関連業	0	0	4	1	5
	化学工業、石油・石炭製品	4	2	42	0	48
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品	12	1	36	0	49
	はん用・生産用・業務用機械器具	6	0	37	1	44
	電子部品・デバイス・電子回路	4	0	44	0	48
	電気・情報通信機械器具	13	4	58	1	76
	輸送用機械器具	46	2	216	3	267
その他	13	1	42	5	61	
電気・ガス・熱供給・水道業		5	0	31	0	36
情報通信業		49	0	79	1	129
運輸業、郵便業		4	0	10	0	14
卸売業		4	0	4	0	8
小売業		0	0	0	0	0
金融業		2	0	1	0	3
保険業		0	0	0	0	0
不動産業、物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業	0	0	5	0	5
	物品賃貸業	2	0	0	0	2
学術研究、専門・技術サービス業	学術・開発研究機関	4	0	3	6	13
	法務	0	0	0	0	0
	その他の専門・技術サービス業	5	1	11	0	17
宿泊業、飲食サービス業		0	0	0	0	0
生活関連サービス業、娯楽業		1	0	4	0	5
教育、学習支援業	学校教育	1	0	1	1	3
	その他の教育、学習支援業	1	0	0	0	1
医療、福祉	医療業、保健衛生	0	0	0	0	0
	社会保険・社会福祉・介護事業	0	0	0	0	0
複合サービス事業		0	0	2	0	2
サービス業	宗教	0	0	0	0	0
	その他のサービス業	4	1	3	0	8
公務	国家公務	5	0	3	0	8
	地方公務	20	1	8	1	30
上記以外		5	0	3	0	8
計		243	14	697	21	975

注1：就職進学者1名を含む

注2：雇用の期間が1年以上で期間の定めがあるものであり、かつ1週間の所定の労働時間がおおむね40～30時間程度の者を指す。

## ■就職状況

## (1) 就職率

出身区分	求職者	求人倍率	就職者	就職率
工学部	第一部	19.1倍	243名	98.8%
	第二部		14名	93.3%
大学院工学研究科	博士前期課程	4.4倍	697名	99.3%
	博士後期課程		21名	100.0%

注：現職者（博士前期課程14名、博士後期課程11名）を含む。

## (2) 主な就職先

産業界（2名以上）

就職先	出身				合計
	学部		大学院		
	第一部	第二部	前期課程	後期課程	
デンソー	2		30		32
豊田自動織機	1		23		24
アイシン精機	2		20		22
中部電力	3		18		21
トヨタ自動車	7		12		19
トヨタ紡織	4		11		15
東海理化電機製作所	1		13		14
日本ガイシ	2		9		11
ダイキン工業			10		10
トヨタ車体	3	1	6		10
パナソニックエコシステムズ	2		8		10
豊田合成	1		9		10
本田技研工業	1		9		10
アイシン・エイ・ダブリュ	2		7		9
ソフトバンク	1		8		9
パナソニック			9		9
住友電装	2		7		9
川崎重工業			9		9
大成建設	3		6		9
トヨタシステムズ	1		7		8
ブラザー工業			8		8
日本製鉄			8		8
リンナイ	1		6		7
三菱電機	2		5		7
スズキ	1		4	1	6
ノリタケカンパニーリミテド			6		6
三菱電機メカトロニクスソフトウェア			6		6
清水建設	1		5		6
日本特殊陶業	2		4		6
JR 東海コンサルタンツ	2		3		5
SCSK	2		3		5
アドヴィックス	1		4		5
エヌ・ティ・ティ・データ東海	3		2		5
ジェイテクト			5		5
デンソークリエイト	3		2		5
パロマ	3		2		5
マキタ			5		5
ヤマハ発動機	2		3		5
三菱自動車工業	1		4		5
三菱重工業			5		5
大林組	3		2		5
中日本高速道路			5		5
榎屋	3		2		5
東海旅客鉄道	1		4		5
FUJI	1		3		4
アビ			4		4
ヴィッツ	3		1		4
エヌ・ティ・ティ・ドコモ	1		3		4
デンソーテクノ	1	1	2		4
ヤフー			4		4
ヤマザキマザック			4		4
愛知製鋼			4		4
村田製作所			4		4

就職先	出身				合計
	学部		大学院		
	第一部	第二部	前期課程	後期課程	
東邦ガス	1		3		4
日本車輛製造			4		4
日立製作所			4		4
JFE エンジニアリング			3		3
JSR			3		3
アドマテックス	1		2		3
オークマ			3		3
オービック	3				3
ダイテック			3		3
パイロットインキ	2		1		3
フタバ産業	1		2		3
愛三工業	1		2		3
花王			3		3
楽天			3		3
京セラ			3		3
三栄ハイテックス	1		2		3
三菱ケミカル			3		3
積水ハウス	3				3
大同メタル工業	1		2		3
大同特殊鋼			3		3
大豊工業	1		2		3
竹本油脂			3		3
東京電力			3		3
東芝メモリ			3		3
日本 IBM			3		3
浜松ホトニクス			3		3
AGC			2		2
ALBERT			2		2
AZAPA	1		1		2
ISOWA	1		1		2
JFE スチール			2		2
LIXIL			2		2
TYK	1		1		2
アイヴィス			2		2
アイカ工業			2		2
アウトソーシングテクノロジー	2				2
アビームシステムズ			2		2
イビデン	1		1		2
エヌ・ティ・ティ・データ			2		2
キャノン			2		2
キョーラク			2		2
サイバーエージェント	1		1		2
シマノ			2		2
セイコーエプソン			2		2
ゼネラルパッカー	2				2
テルモ			2		2
デンソーセールス	2				2
パツファロー	2				2
ファナック			2		2
フューチャーアーキテクト	1		1		2
ポッシュ			2		2
マツダ	1		1		2
メイテツコム	1		1		2
ヤマハ			2		2
ローム			2		2
伊藤建築設計事務所	1		1		2
戸田建設	1		1		2
高砂電気工業		1	1		2
三甲	2				2
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング			2		2
三菱電機エンジニアリング			2		2
鹿島建設	1		1		2
住友理工			2		2
住友林業	2				2
小糸製作所			2		2
小松製作所			2		2
西日本電信電話	1		1		2
大陽日酸			2		2
竹中工務店	1		1		2



就職先	出身				合計
	学部		大学院		
	第一部	第二部	前期課程	後期課程	
中電シーティーアイ	2				2
島津製作所			2		2
東レ			2		2
東レエンジニアリング			2		2
東レ建設			2		2
東建コーポレーション	2				2
東芝プラントシステム	1		1		2
東日本旅客鉄道			2		2
東邦ガス情報システム	2				2
東亜合成			2		2
凸版印刷			2		2
日産自動車	1		1		2
日東工業	1		1		2
日本工営			2		2
日立ハイテクノロジーズ			2		2
日立建機			2		2
武蔵精密工業			2		2
豊田通商	1		1		2
名古屋鉄道			2		2
林テレンプ	2				2
計	127	3	517	1	648

## 教育・研究機関（全て）

就職先	出身				合計
	学部		大学院		
	第一部	第二部	前期課程	後期課程	
名古屋工業大学			1	3	4
名古屋市立大学	1				1
State Islamic University (UIN) Walisongo				1	1
中南大学				1	1
計	1	0	1	5	7

## 官公庁（全て）

就職先	出身				合計
	学部		大学院		
	第一部	第二部	前期課程	後期課程	
名古屋市	9	1	2		12
愛知県	4				4
名古屋港管理組合	2		1		3
国土交通省中部地方整備局	1		1		2
愛知県警察	1				1
岡崎市	1				1
岐阜県			1		1
京都府教育委員会			1		1
経済産業省中部近畿産業保安監督部	1				1
国土交通省			1		1
国土交通省中国地方整備局	1				1
三重県警察	1				1
滋賀県	1				1
小牧市	1				1
同済設計事務所（中国）			1		1
豊橋市			1		1
豊田市			1		1
防衛省地方防衛局	1				1
計	24	1	10	0	35

## 非営利法人（全て）

就職先	出身				合計
	学部		大学院		
	第一部	第二部	前期課程	後期課程	
（一財）材料科学技術振興財団				1	1
公園財団	1				1
水資源機構	1				1
製品評価技術基盤機構			1		1
文化財建造物保存技術協会			1		1
計	2	0	2	1	5

## 2017年度卒業生

就職・進路先	物質工学科		機械工学科		電気情報工学科		社会開発工学科		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
産業界（教育・研究機関を除く）											
イビコン							1		1		1
熊谷組							1		1		1
五洋建設							1		1		1
ジャニス工業	1								1		1
大正富山医薬品	1								1		1
樋屋	1								1		1
東芝ライフスタイル			1						1		1
トヨタ車体							1		1		1
日本ソセー工業	1								1		1
パーソルR&D			1						1		1
ハイジェントテクノロジー					1				1		1
パロマ		1								1	1
名工建設							1		1		1
隆祥房			1						1		1
計	4	1	3		1		5		13	1	14
官公庁・非営利法人（教育・研究機関を除く）											
大垣市							1		1		1
豊田市							1		1		1
計							2		2		2
教育・研究機関											
千葉県立茂原樟陽高等学校			1						1		1
計			1						1		1
進学											
名古屋工業大学	1		1		2				4		4
早稲田大学					1				1		1
計	1		1		3				5		5
合計	5	1	5		4		7		21	1	22

## 2018年度卒業生

就職・進路先	物質工学科		機械工学科		電気情報工学科		社会開発工学科		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
産業界（教育・研究機関を除く）											
青山製作所	1								1		1
SMBC日興証券	1								1		1
エヌティー精密			1						1		1
キャッチネットワーク					1				1		1
三五			1						1		1
竹田印刷					1				1		1
東海コンクリート工業							1		1		1
プライザ			1						1		1
フリーダム						1				1	1
丸栄コンクリート工業							1		1		1
吉野石膏			1						1		1
計	2		4		2	1	2		10	1	11
官公庁・非営利法人（教育・研究機関を除く）											
愛知県								1		1	1
計								1		1	1
進学											
名古屋工業大学	1	1	1		2		1		5	1	6
北陸先端科学技術大学院大学					1				1		1
計	1	1	1		3		1		6	1	7
合計	3	1	5		5	1	3	1	16	3	19

## 2019年度卒業生

就職・進路先	物質工学科		機械工学科		電気情報工学科		社会開発工学科		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
産業界（教育・研究機関を除く）											
アイシン・ソフトウェア					1				1		1
アジア航測							1		1		1
イイダ産業		1								1	1
ゼネラルエンジニアリング					1				1		1
高砂電気工業	1								1		1
中京化成工業	1								1		1
デンソーテクノ			1						1		1
トーエネック					1				1		1
トヨタ車体			1						1		1
VSN			1						1		1
MARKELINK							1			1	1
ミヤマ精工					1				1		1
豊精密工業							1		1		1
計	2	1	3		4		2	1	11	2	13
官公庁・非営利法人（教育・研究機関を除く）											
名古屋市							1		1		1
計							1		1		1
進学											
名古屋工業大学			2				1	1	3	1	4
計			2				1	1	3	1	4
合計	2	1	5		4		4	2	15	3	18

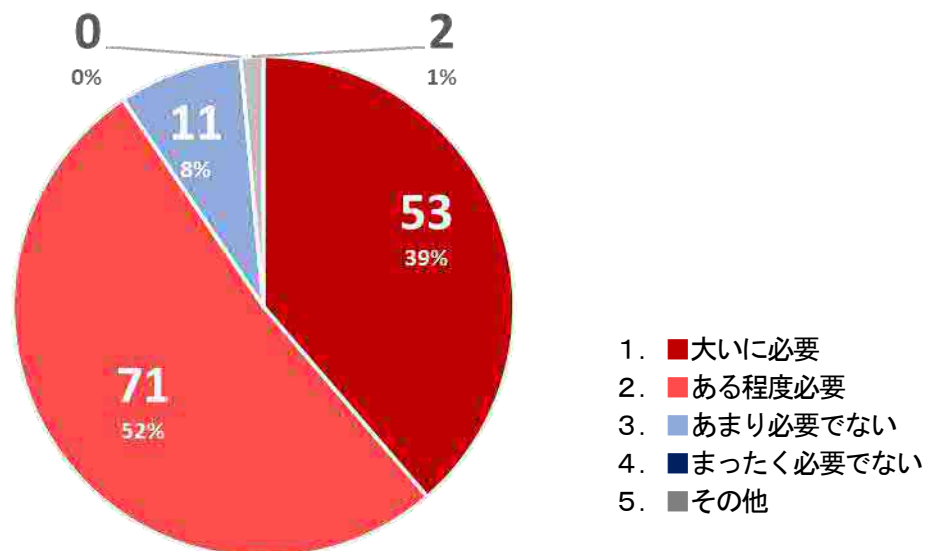
## 企業へのアンケート結果【基幹工学教育課程】

2020年9月4日から10月6日（WEB アンケート実施）

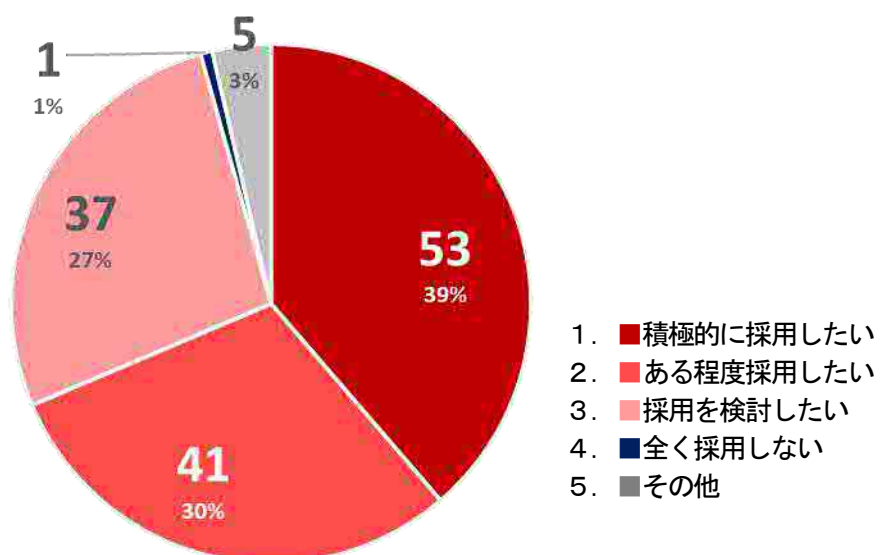
依頼企業数：469社

有効回答数：137社（回答率29.21%）

問1 本構想に掲げる人材は貴社に必要ですか。



問2 本構想の課程を修了した学生を採用しますか。





# <WEB アンケート>

## 名古屋工業大学における新たな「教育課程」の構想について

平素より本学の教育研究活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、本学では、2022年4月の開設を目指し、以下のとおり既存の学科・専攻の改組を構想しております。

①基幹工学教育課程（夜間主）（仮称）

工科系高校との接続を重視し、「基幹技術の展開を具現化する創製人材の育成（基幹工学）」を目指すため、現行の工学部第二部を改組（廃止）し、工学部に「夜間教育を主とした昼夜開講制の新教育課程」設置を計画

②工学専攻（博士後期課程）（仮称）

社会の変化や要請に柔軟かつ迅速に対応できる教育体制を実現するため、既設5専攻を、工学全体を基盤とする1専攻とし、工学分野横断・融合的教育を行う教育・研究指導体制を導入する計画

上記の構想に対する社会的な需要を調査するため、本アンケートにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。それぞれの課程・専攻に関する構想概要については、メールに添付した概要資料（PDF）をご参照ください。

なお、本アンケートは、全体を集計した上で、本構想の関係資料として利用し、個別に公表しないことを申し添えます。

\*本件に関する構想内容は変更することがあります。ご注意ください。

\* 必須

①基幹工学教育課程（夜間主）（仮称）に関するアンケートです。

\* 構想概要は添付PDFを参照ください。

1.本構想に掲げる人材は貴社に必要ですか。 \*

- 大いに必要
- ある程度必要
- あまり必要でない
- まったく必要でない

その他

2.本構想の課程を修了した学生を採用しますか。 \*

- 積極的に採用したい
- ある程度採用したい
- 採用を検討したい
- 全く採用しない

その他

3.自由記述（構想全般に対してご意見・感想等あれば記入ください。）

\* 必須

②工学専攻（博士後期課程）（仮称）に関するアンケートです。

\* 構想概要は添付PDFを参照ください。

4. 本構想に掲げる人材は貴社に必要ですか。 \*

- 大いに必要
- ある程度必要
- あまり必要でない
- まったく必要でない
- その他

5. 本構想の課程を修了した学生を採用しますか。 \*

- 積極的に採用したい
- ある程度採用したい
- 採用を検討したい
- 全く採用しない
- その他

6. 自由記述（構想全般に対してご意見・感想等あれば記入ください。）

回答を入力してください

7. 御所属を記入ください。（任意です。）

回答を入力してください

8. 御役職名を記入ください。（任意です。）

回答を入力してください

9. 御氏名を記入ください。（任意です。）

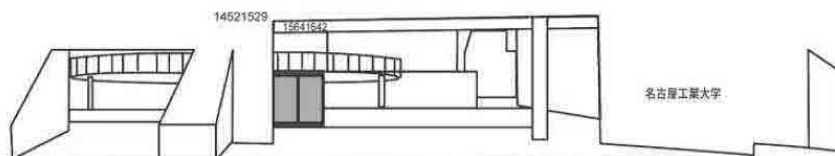
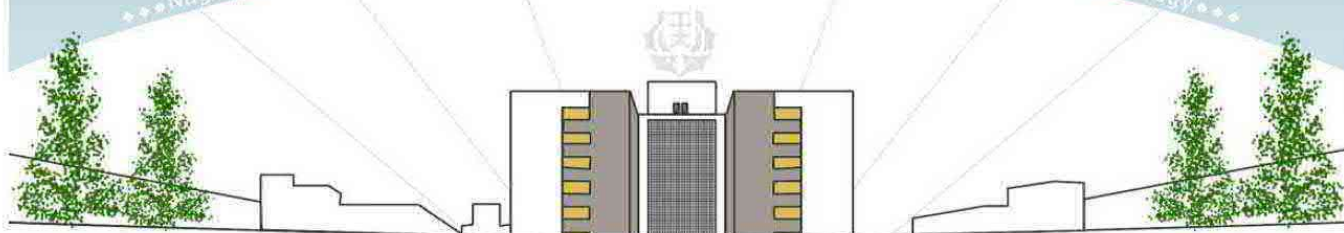
回答を入力してください

# 名古屋工業大学

## 工学部基幹工学教育課程（仮称）

### 構想概要

◆◆◆Nagoya Institute of Technology◆◆◆のつくり◆◆◆のつくり◆◆◆のつくり◆◆◆Nagoya Institute of Technology◆◆◆



名古屋工業大学



Nagoya Institute of Technology

本資料の内容は現在構想中の案であり、変更することがあるためご注意ください。

名古屋工業大学

## 目次

1. 名古屋工業大学における人材育成
2. 基幹工学教育課程（仮称）の養成する人材
3. 基幹工学教育課程の特色
4. カリキュラムフロー（全体像：案）







# 1. 名古屋工業大学における人材育成

我が国・世界の産業技術に貢献する「実践的工学エリートの育成」  
研究企画（おもひ）、設計開発（しくみ）、製造（つくり）、流通（ながれ）

## 多様な学生による学びの活性化

【入学者像】経済的困窮学生、  
専門学科卒業生、社会人

専門科目の深化  
(アドバンスプラン)

### 基幹工学教育課程 (夜間主) (仮称)

電気・機械工学コース  
環境都市工学コース

リカレント  
教育

基幹技術の展開  
製造・施工現場で即戦力を持つ  
創製人材の育成

実務型教育  
社会のニーズに対応

中京地域産業界が  
求める専門基礎  
電気・機械工学、  
環境都市工学

### 5 学科

(高度工学教育課程)

技術の深化  
中核的技術者、  
研究人材の育成

### 創造工学教育課程

2 コース

新しい価値の創造  
多面的視野を持つ  
開発人材の育成

### 共通の工学基礎教育

数学、物理、化学  
数理・データサイエンス  
工学倫理、科学技術英語、知財・マネジメント



# 2. 基幹工学教育課程（仮称）の養成する人材

## 産業界の求める工学人材像（新たな工学人材像）

本学工学部に既存の中核的技術者・研究人材の育成（高度工学）と多面的視野を持つ開発人材の育成（創造工学）と並んで、「**基幹技術の展開を具現化する創製人材の育成（基幹工学）**」を目指す

＜創製人材＞

- ・設計開発を含む複雑化する製造・施工現場で、即戦力を持って活躍可能な工学人材（特に専門学科卒業生）
- ・研究・開発部門と製造・施工部門の橋渡しを、工学基幹知識とスキルによって可能とする実践人材

### 電気・機械工学コース、環境都市工学コースで構成

愛知県内の工業高校及び企業へのアンケート調査及びヒアリングを行った結果、「電気」「機械」「土木」3分野の人材需要が高い

#### 電気・機械工学コース

世界をリードする我が国の電子・機械製品群の企画・開発・設計から製造を担う人材を、工学基礎と電気・機械工学専門基礎の学修により育成する

#### 環境都市工学コース

持続可能な魅力ある街・都市・国土づくりに必要な設計・施工・管理を担う人材を、工学基礎と土木工学専門基礎の学修により育成する





### 3. 基幹工学教育課程の特色

#### <特色の概要>

#### 多様な学生による 学びの活性化

- ・工業高校・高等専門学校卒業生（学校推薦型選抜(推薦入試)）
- ・社会人・高等教育の修学支援制度に高校3年時に申請した者（総合型選抜(AO入試)）

注) 3年次修了者含む

#### 中京地域産業界が 求める専門基礎

- ・徹底した工学基礎教育（数学、物理、化学、数理・データサイエンス、工学倫理、知的財産・アントレプレナーシップ・マネジメント）
- ・中京地域産業界が求める専門基礎（コースワークとして電気・機械工学、環境都市工学などから地域のニーズに応じて設定）を徹底教育

#### 実務型教育

社会のニーズ変化に対応した教育

- ・専門科目のうち3・4年次開講科目の2割を企業経験者・企業在籍者が担当
- ・企業等と連携した実践的内容を組み入れた体系的な専門基礎カリキュラム
- ・就業現場に関するPBLやインターンシップなどによる少人数アクティブラーニング

#### 専門科目の深化 (アドバンスプラン)

- ・高度工学教育課程の専門科目を30単位まで履修可能



### 4. カリキュラムフロー（全体像：案）

\*夜間教育を主とした昼夜開講制の新教育課程

